

せい ぼう 清 眸

～ 清らかな^{ひとみ}眸で進み行け ～

松本蟻ヶ崎高等学校

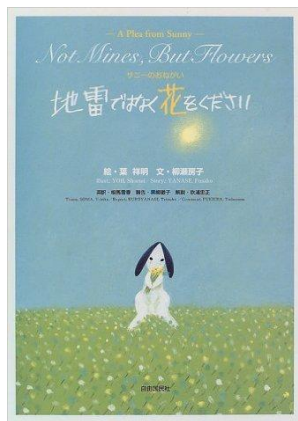
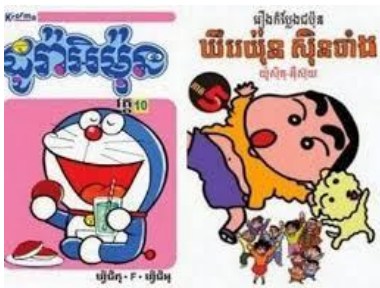
1 学年

学年・進路通信

2015.11.5 No.12

1 学年特別講義まとめ&うらばなし

10/15にはみなさんの先輩方が来校し、大学入学後から始めた WorldFut のついで活動の紹介や報告をしてくれました。講師の川上さんは6月に教育実習で保健体育の授業や1組の HR で実習をし、最終日の「語る会」終了後、みなさんからのお礼の手紙を手渡した時、私にカンボジアでの活動について話してくれました。聞けば聞くほど私ひとりではもったいない！みんなに聞かせたい！と思われ、無理を承知でお願いをしたところ、講演を快諾してくれました。人との関わりにはチャンスとタイミングは大事なんだな、と心から思いました。その後夏休みに直接、またメールでのやり取りを繰り返し、当日を迎えたのですが・・・。事前学習でポルポト政権や地雷のことをみなさんに考えてもらったのが火曜日。その内容は2人に私からお願いはしていませんでした。ですからその時点で先輩達は講義に盛り込む予定はなかったそうです。ところが「こんな事前学習をしました」と写メを送った直後から、彼らは急遽カンボジアにとっての「影」の話を盛り込み、映像も増やして当日はほとんど徹夜状態で横浜と東京から蟻ヶ崎に来てくれました。ただ一生懸命に、たった1回になるかもしれないから、と、この機会をととても大切に考えてくれたことに本当にうれしさを覚えました。更にうれしかったのは、この逸話を全く知らないみなさんがとても熱心に映像を見つめ、心を震わしてくれた姿でした。それは先輩方と呼応した姿、濃厚で充実した時間になった要因です。蟻ヶ崎の生徒は講演会では語る人に対して心を向けることができますが、皆さんに書いてもらった感想とお礼文は普通の講演の3倍量は書かれており、私は彼らにちょっとした嫉妬すら覚えたほどです。行っていない国々のことも含めて国際化について考えていくみなさんの、5、6年先を歩く先輩達の姿はまぶしかったのではないのでしょうか。図書館では早速カンボジアコーナーを作っています。また先輩方からのメッセージをいただいたので掲載します。どうぞあの時間の心に生まれたものが薄れる前に図書館を訪れ、読み、考えてください。(学習係 宮崎)



☆黒瀬翔生先輩より☆

先日は私達の拙い講演会を聞いていただきありがとうございます。みなさんの感想文を一通り見させていただきました。少しでもなにか影響を与えられたのではないかと思います。今回の講演会は、みなさんが新たな視点を持つきっかけとなれば幸いです。



☆川上峻也先輩より☆

みなさん、先日はありがとうございました。自分達が話したことを通して、少しでも何かを感じてもらえればと思います。カンボジアのイメージが変わったならうれしいし、何かに挑戦したり、続けようと思うきっかけになれば、これ以上うれしいことはありません。強いて言えば、自分達が伝えたかったことは2つです。

1つ目は、目の前のことにとらわれず、広い視野を持っていろんなことに挑戦して欲しいということです。今、自分の目の前に見えているものは、自分の過去の経験であったり近くにいる人から得られるもので、視野が狭くなりがちです。いつもは話さない人たちの話を聞いてみたり、興味を持ったことを積極的に調べてみたりと、できることはたくさんあります。是非広い視野を持って行動してみてください。

2つ目は自分の幸せの価値観を考えてみて欲しい、ということです。スマオン村の生活を、実際に見て貧しいと思うことも多かったと思います。日本でのものが溢れている生活からするとみすぼらしく見えることもあったでしょう。でも、今自分達が生活している中で、必要不可欠なものが必ずしも必要であるとは限りませんし、幸せの価値基準はさまざまです。スマオン村の人たちは今を幸せに感じて生きています。得ることで幸せを得る人も、学ぶことで幸せを感じることも家族といることで幸せを感じる人もいます。目先の達成だけに幸せを見出すのではなく、自分がどんなことで幸せを感じるか考えてみるのはいかがでしょうか？自分も日々考えています。皆さんのこれからの選択がとても楽しみです。何か力になる事があれば言ってください！応援しています！

